

東港金属株式会社

環境データ報告書 第74期

目次

1. はじめに.....	2
1-1 環境データ報告書 対象組織・期間・内容.....	2
1-2 発行日	2
1-3 お問い合わせ先他.....	2
2. 事業活動と環境負荷	3
2-1 マテリアルバランス	3
2-2 マテリアルバランスの詳細	4

1. はじめに

東港金属株式会社は2007年(平成19年)以来、ステークホルダーの皆様へ、当社の環境への取り組み姿勢を中心とした業務内容をそのまま報告することにより、皆様の良きリサイクルパートナーとして事業活動の透明性、信頼性を評価いただきたく「環境報告書」を毎年発行しており、昨年は第73期の報告をすることができました。

環境報告書の対象期間は、当社の会計期間である該当年7月から翌年6月までの1年間を一期とし、公表内容は、環境関連データや工場の処理フロー及び社内での出来事等を編集したものとなっております。環境関連データの対象範囲は、東港金属株式会社(本社・本社工場、千葉工場、東京事務所、天童支店)及びトライマテリアル株式会社(本社営業所)としております。

さて、この度(2019年から)東港金属の会計期間を当年1月から当年12月までの1年間を一期とすることに変更いたしました。これにより昨年2018年の7月から12月までの6ヶ月間が第74期となり、今年2019年1月から12月までを第75期として運営することとなりました。

環境報告書はこれまで会計期間に合わせて発行してまいりましたが、第74期は月数が少ないこともあり、この間の環境関連データを集計し、前後の期との連続性を保つため「74期環境データ報告書」として、マテリアルバランスのデータをここに公表することといたしました。

第75期からは従来通り対象期間を1年間とした報告書の発行を予定しております。

1-1 環境データ報告書 対象組織・期間・内容

◇対象組織

対象組織は、天童支店(現、東北支店)を含めた東港金属株式会社全社及びトライマテリアル株式会社(本社営業所)としました。

◇対象期間

第74期(2018年7月～2018年12月)

◇内容

マテリアルバランス及びその詳細

1-2 発行日

2019年5月(当社ホームページ上 <https://www.tokometal.co.jp/>)

1-3 お問い合わせ先 他

東港金属株式会社 経営企画室

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F

TEL:03-5767-8860(代)

FAX:03-5767-8870

当社では、2007年より【環境報告書】を作成しております。

今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧になれます。

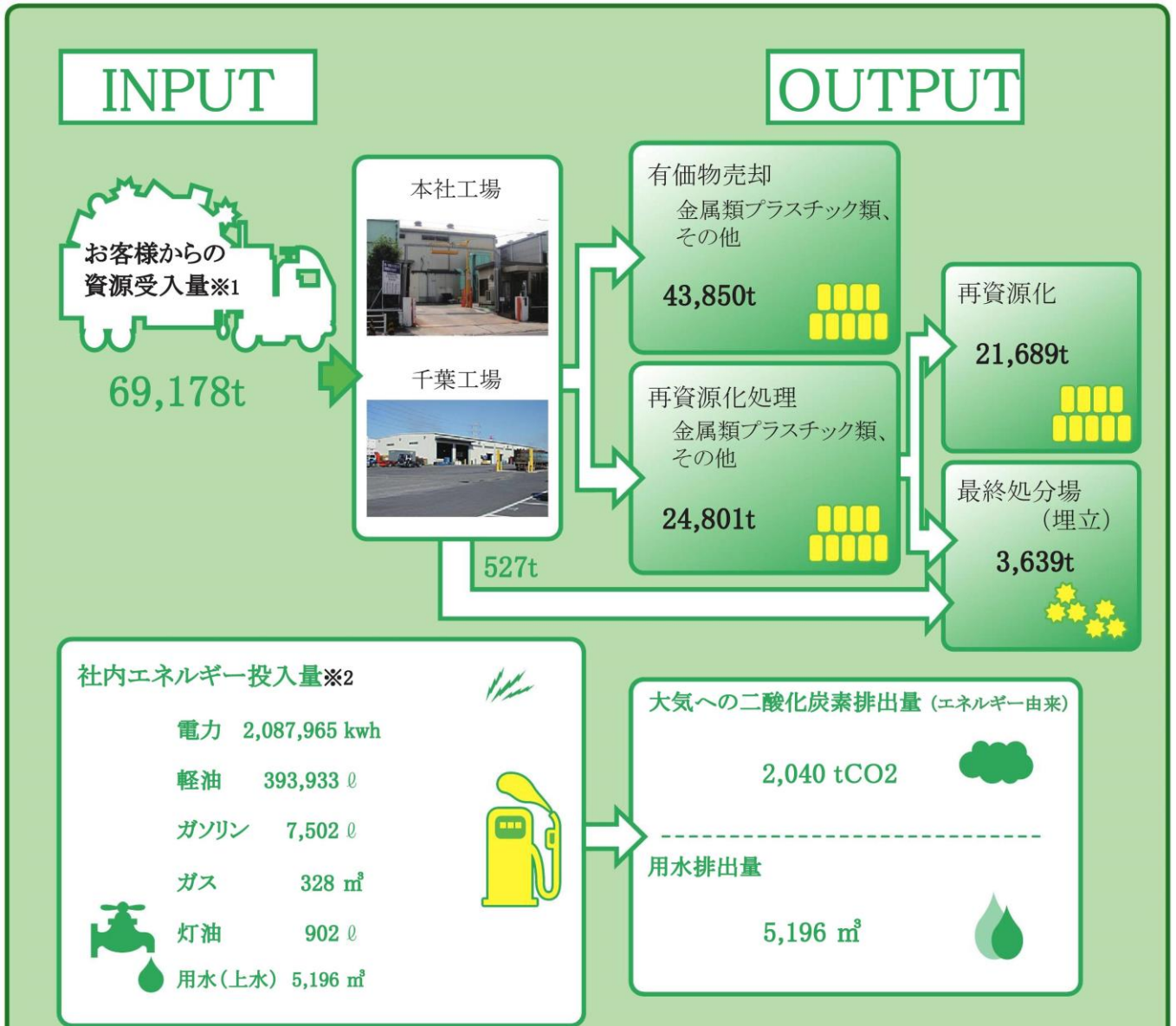
2. 事業活動と環境負荷

2-1 マテリアルバランス

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。

作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。

第74期(2018年7月～2018年12月)の主な環境負荷は以下の通りです。



* 小数点以下を四捨五入しておりますので、合計が合わない場合があります。

二酸化炭素排出量計算根拠

電力: 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用) H30.07.31一部追加修正より

用水: 東京都地球温暖化対策報告制度「地球温暖化対策報告書ツールv4.2換算係数マスター」より

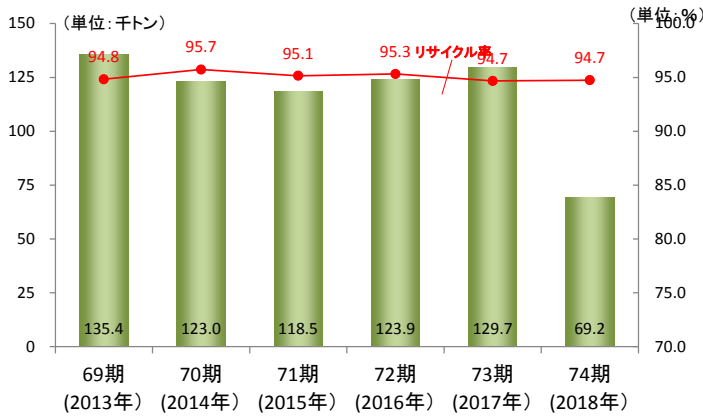
電力・用水以外: 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.3.2)(環境省・経産省)より

※1 資源受入量は、本社工場と千葉工場への新規受入量の合計です。

※2 社内エネルギー投入量は、ISO14001適用範囲である協力会社トライマテリアル株式会社の投入量を含みます。

2-2 マテリアルバランスの詳細

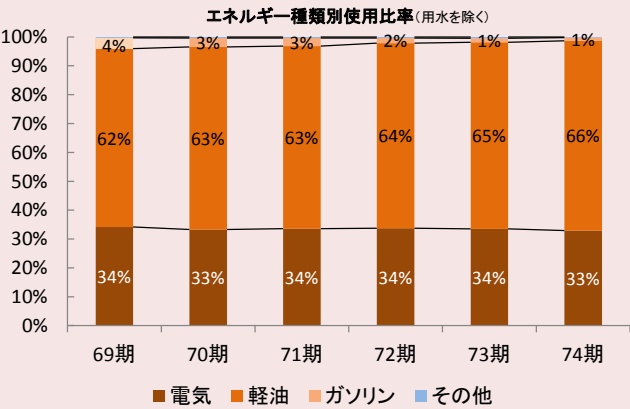
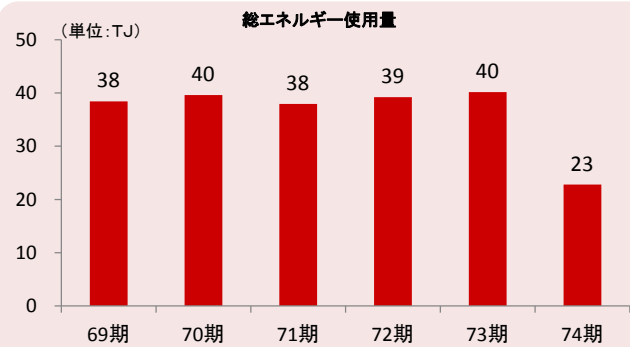
資源受入量とリサイクル率実績



リサイクル率とは、
受入量に対して、東港金属の工場から搬送した先（二次処理先）の埋立率を
考慮して求めた率としております。

$$= \frac{(\text{直接埋立処分場への搬送量}) + (\text{二次処理先への搬送量}) \times (\text{二次処理先埋立率})}{\text{受入量}}$$

INPUT



OUTPUT

